

X 病害虫総合管理集団育成事業

1 課題名：たばこ黄斑えそ病の総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： たばこ耕作組合身延総代区（有家町）
 (2) 集団代表者（構成員数）： 堀 茂（30名）
 (3) 対象作物： たばこ
 (4) 対象病害虫： 黄斑えそ病
 (5) 事業の実施内容
 アブラムシ忌避資材や薬剤等を組み合わせた総合防除技術
 (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
有家町	15ha	15ha	平成6年	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	参集員数	参集範囲	検討事項
事前検討会	2月 日	現地及び 有家町中央公民館	30	西九州たばこ耕作組合 島原支所 JT島原原料事務所 病虫害防除所	
中間検討会	5月 日				
反省検討会	7月 日				

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
有家町大苑 椎木谷	・生育調査 ・たばこ黄斑えそ病発病調査 ・アブラムシ飛来調査	4～5月 4～7月 3月下旬～5月中旬

(9) 実施の効果

(10) 今後の課題及び問題点

2. 課題名：なす主要病害虫の総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 雲仙農協なす部会（吾妻町）
 (2) 集団代表者（構成員数）： 平野利徳（20名）
 (3) 対象作物： なす
 (4) 対象病害虫： すすかび病，ミナミキイロアザミウマ，マメハモグリバエ
 (5) 事業の実施内容：
 1) ミナミキイロアザミウマ、マメハモグリバエについては粘着トラップによる発生状況調査
 2) すすかび病については育苗期からの総合防除
 (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
吾妻町	4.1ha	4.1ha	平成6年 6～月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	参集員数	参集範囲	検討事項
実施検討会	6月15日	雲仙農協	30名	普及所、農協防除所	実施計画
研修会	9月28日	雲仙農協	30	普及所、農協防除所	病害虫防除研修
中間検討会	11月 日	現地	30	普及所、農協防除所	病害虫防除実態の検討
事業実績検討会	7年3月 日	雲仙農協	30	普及所、農協防除所	実績検討会

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
吾妻町	・病害虫防除実態調査 ・病害虫発生状況調査	

(9) 実施の効果

(10) 今後の課題及び問題点

3. 課題名：いちご炭そ病の総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 東長崎農協農協いちご部会（長崎市）
 (2) 集団代表者（構成員数）： 松尾七郎治（53名）
 (3) 対象作物： いちご
 (4) 対象病虫害： 炭そ病
 (5) 事業の実施内容：
 1) 雨よけ育苗による防除技術及び薬剤体系散布による防除技術
 (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
長崎市矢上町	5.5ha	0.1ha	平成6年5月 ～11月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	参集員数	参集範囲	検討事項
実施計画検討会	4月26日	普及センター	5名	市、普及所、農協防除所、生産組合	実施計画
現地講習会	5月9日	現地	20名	普及所、農協防除所、生産組合	育苗・病虫害防除研修
中間打合わせ会	6月6日	農協	6名	市、普及所、農協防除所、生産組合	調査圃場設置関係
現地講習会	7月13日	農協	43名	普及所、農協防除所、生産組合	育苗・病虫害防除研修
検討会	9月7日	農協	40名	市、普及所、農協防除所、生産組合	調査圃場の結果

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
長崎市現川町	(圃場1)・雨よけ育苗による防除効果及び他病虫害の発生調査 (圃場2)・薬剤体系散布による防除効果	6月中旬、7月上旬、7月下旬

(9) 実施の効果

現地講習会や調査圃場の設置等を通じて、本病の発生生態や防除技術に対する認識が高まり、適切な対策が講じられた。その結果、本病は数圃場で認められただけで、被害も極めて軽微であった。

(10) 今後の課題及び問題点

雨よけ育苗の場合、日当たりが不良な圃場ではいちごがやや徒長傾向にあり、育苗圃場の設置場所を十分配慮する必要がある。

4. 課題名：いちごハスモンヨトウのフェロモン予察による防除効率化（1年目）

(1) 集団名（市町村）： 松原農協いちご部会（大村市）

(2) 集団代表者（構成員数）： 中村 勇（47名）

(3) 対象作物： いちご

(4) 対象病害虫： ハスモンヨトウ

(5) 事業の実施内容：

フェロモントラップによる誘殺産卵防止

(6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
大村市松原町	9.0ha	9.0ha	平成6年7月 ～6年12月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	参集 員数	参集範囲	検討事項
実施計画検討	5月18日	松原 農協	47	普及所、農協、部会 市役所、防除所	実施計画
研修会	5月28日				病害虫防 除研修
研修会	8月 日				病害虫防 除研修
中間検討会	9月				中間検討
実績検討	12月				実績課題 検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
大村市松原	病害虫発生状況調査 " 被害状況調査	7～12月

(9) 実施の効果

(10) 今後の課題及び問題点

5. 課題名：びわの総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 諫早農協ハウスびわ部会（諫早市）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 野口隆浩（14名）
- (3) 対象作物： びわ
- (4) 対象病虫害： 灰斑病、褐斑病、ナシマルカイガラムシ、アブラムシ
- (5) 事業の実施内容
 - 1) 耕種的防除と薬剤防除を組み合わせた総合防除
 - 2) 発生状況に基づいた適期防除の推進
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
諫早市長田町	2.1ha	40a	平成6年6月～7年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	参集数	参集範囲	検討事項
現地検討会	6月～5月	現地	30名	長崎県実地普及センター ハウスびわ部会 諫早農協 病害虫防除所	栽培管理技術の向上 及び病虫害の防除対策検討
第4回総会	7月 日	諫早農協			
役員会	8月 日 11月 3月	みかん 選果場			
視察研修	9月 日 5月	先進地			

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
諫早市長田町	灰斑病、褐斑病、ナシマルカイガラムシ、アブラムシの発生状況及び防除効果	平成6年7月、9月 7年3月、6月

(9) 実施の効果

(10) 今後の課題及び問題点

6. 課題名：水稲病害虫の総合防除（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 柚木地区低農薬米生産組合（佐世保市）
 (2) 集団代表者（構成員数）： 宮崎 敦（40名）
 (3) 対象作物： 水稲
 (4) 対象病害虫： イネミズゾウムシ，コブノメイガ，カメムシ
 (5) 事業の実施内容
 1) 病害虫発生状況に応じた防除要否の検討
 2) 管理作業及び防除日の検討
 (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
佐世保市 里美町	25ha	25ha	平成6年 6～11月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
検討会	5月7日	公民館	40名	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	平成5年度作付計画 及び防除計画検討
現地研修会	6月22日	現地	40	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	管理、防除現地研修
現地講習会	7月17日	現地	40	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	溝切機実演講習会
現地講習会	9月10日	現地	40	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	防除、管理講習会
検討会	10月28日	現地	40	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	収穫時期検討、目揃 会
検討会	12月7日	公民館	40	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	防除反省、検討会
反省会	12月16日	農協	40	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	販売反省会
反省会	6年2月24日	公民館	40	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	販売反省会
検討会	6年3月24日	公民館	40	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	平成6年度作付計画 及び防除計画検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
佐世保市里美町	病害虫発生状況把握	6～10月

(9) 実施の効果

病害虫発生状況調査に基づく適期防除により被害が軽減した。

(10) 今後の課題及び問題点

耕種的防除対策向上及び続行

7. 課題名：きゅうり主要病害虫防除の総合管理（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 大村市農協福重支所寿古きゅうり部会（大村市）
 (2) 集団代表者（構成員数）： 古川光郎（9名）
 (3) 対象作物： きゅうり
 (4) 対象病害虫： 灰色かび病，菌核病，ミナミキイロアザミウマ，ハダニ類
 (5) 事業の実施内容：
 1) 耐性菌、薬剤抵抗性発現をなくすためのローテーションの検討
 2) 健康保全、省力化のための常温煙霧法等防除法の効果的な使用法の検討
 3) 適切な肥培管理、初期防除の徹底による省農薬栽培技術の確立
 (6) モデル集団の設置実績

設 置 場 所	作付面積	発生面積	設置期間	備 考
大村市	1.6 ha	1.6 ha	平成6年6月 ～7年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会 議 名 等	開催時期	開催場所	構 成 員 数	構 成 員 の 範 囲	検討事項
実施計画検討	9月21日	農協	22名	市、普及所、農協防除所、生産組合	実施計画
研修会	9月28日	農協	22	市、普及所、農協防除所、生産組合	病害虫防除研修
中間検討会	12月15日	農協	22	市、普及所、農協防除所、生産組合	中間検討会
事業実績検討会	7年3月23日	農協	22	市、普及所、農協防除所、生産組合	実績課題検討

(8) 試験圃場の設置

設 置 場 所	調 査 項 目	調 査 時 期
大村市寿古町	・病害虫防除実態調査 ・病害虫発生状況調査 ・肥培管理状況調査	平成6年11月 ～7年 3月

(9) 実施の効果

ハダニ、スリップスの発生が多く、定植初期の防除に勉めた。

(10) 今後の課題及び問題点

薬剤の散布法、量が問題である。

8. 課題名：いちご主要病害虫の総合防除（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 北高農協いちご部会（高来町）
 (2) 集団代表者（構成員数）： 伊東正敏（33名）
 (3) 対象作物： いちご
 (4) 対象病害虫： うどんこ病，炭そ病，ハスモンヨトウ，ハダニ
 (5) 事業の実施内容：
 1) 肥培管理、薬剤防除の組み合わせによる効果的防除
 2) 性フェロモントラップによるハスモンヨトウの大量誘殺効果確認
 (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
高来町	5.8ha	5.8ha	平成6年7月 ～7年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
実施計画検討	6月29日	北高農協 湯江支所	10名	普及所、防除所 農協、部会	実施計画
研修会	7月 日	北高農協 湯江支所	40名	普及所、防除所 農協、部会	病害虫防除 研修
中間検討会	10月 日	北高農協 湯江支所	40名	普及所、防除所 農協、部会	中間検討
実績検討会	6年3月 日	北高農協 湯江支所	40名	普及所、防除所 農協、部会	

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
高来町湯江	・病害虫防除実態調査 ・病害虫発生状況調査	平成6年7月1日 ～7年3月31日

(9) 実施の効果

病害虫発生状況に基づく適期防除により被害を抑えた。

(10) 今後の課題及び問題点

薬剤ローテーションを考えた農薬散布の実施

9. 課題名：チャノキイロアザミウマの総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 大村市農協みかん部会三浦支所（大村市）
 (2) 集団代表者（構成員数）： 佐古和博（106名）
 (3) 対象作物： 柑橘
 (4) 対象病害虫： チャノキイロアザミウマ
 (5) 事業の実施内容：
 黄色粘着トラップを用いたチャノキイロアザミウマの発生活長把握
 (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
時津町	68ha	35ha	平成6年7月 ～7年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
発生予察検討会	7月 日	農協	15名	普及所、農協市役所、部会	発生予察 防除時期 農薬検討
発生予察検討会	8月 日	農協	15	普及所、農協市役所、部会	
防除暦の作成検討	12月 日	農協	15	普及所、農協市役所、部会	

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
大村市西部町 今村町	黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの発生活長調査	平成6年7月 ～9月

(9) 実施の効果

定期防除が行われたため被害は少なかった。

(10) 今後の課題及び問題点

チャノキイロアザミウマの発生初期の把握を行い、適期防除を行うことがある。

10. 課題名：ハウスみかんの防除体系の確立（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 北高農協ハウスみかん部会（高来町）
 (2) 集団代表者（構成員数）： 松本博文（19名）
 (3) 対象作物： 柑橘
 (4) 対象病害虫： 灰色かび病、黒点病、ハダニ、スリップス
 (5) 事業の実施内容
 1) 見廻り検討会による合理的防除
 2) 黒点病の防除体系の検討
 (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
高来町	3.5ha	3.5ha	平成6年6月～7年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
ハウスみかん定例会	6月 日	現地～選果場	26名	部会員、関係機関	1. 当面の管理について 2. 当面の防除について 3. 集出荷計画について 4. 販売促進会の実施について
ハウスみかん定例会	7月 日	現地～選果場	24	部会員、関係機関	選果場別果実抜き取り調査結果について
ハウスみかん定例会	8月 日	現地～選果場	24	部会員、関係機関	1. 当面の管理について 2. 当面の防除について
ハウスみかん定例会	9月 日	選果場	25	部会員、関係機関	1. 当面の管理について 2. 当面の防除について
ハウスみかん定例会	10月 日	選果場	25	部会員、関係機関	平成5年産生産；販売反省
役員会	11月 日	選果場	7	部会員、関係機関	平成6年産ハウスみかん栽培暦作成について
定例会	12月 日	現地～選果場	25	部会員、関係機関	1. 平成6年産ハウスみかん栽培暦について 2. 当面の管理について 3. 当面の防除について
定例会	7年1月 日	現地～選果場	25	部会員、関係機関	1. 生産及び生育状況について 2. 当面の管理について 3. 当面の防除について
定例会	7年2月 日	現地～選果場	20	部会員、関係機関	1. 当面の管理について 2. 当面の防除について 3. 摘果方法について

(8) 試験圃場の設置

設置場所	調査項目	調査時期
高来町 小長井町	・ミカンハダニ、スリップスの被害調査 ・灰色かび病、黒点病の発生調査	平成6年 7・8・9月

(9) 実施の効果

病害虫の発生状況の結果をもとに防除実績、栽培管理等を解析した。

(10) 今後の課題及び問題点

ミカンハダニの薬剤抵抗性の程度が個々のハウスで異なっており、防除対策に苦慮している農家がある。そのため、その対策としてビニール被覆前後の防除を徹底する必要がある。